

エッセー

自然が育む力



冬季五輪で日本人選手
の活躍が毎日報じられ、
その映像を見ているだけ
でも心が熱くなってきたま
ね、選手が力を出し切
る姿に感動し、気持ちよ
く心から応援することが
できます。

しかし、テレビなどの
映像は別の世界を映し出
しているものであり、目
の前で実際に起きている
ことではありません。感
動しているのはなぜで
しょう？

実は私たちは心で感じ
ているのです。会場にい
なくても、会場の雰囲気
や選手の気持ち、選手が

オリンピックに出るまで

に越えてきたであろう厳
しい練習などに思いを重
ね、察することによって心
が動き、感銘を受けて心を動
かされているといえま
す。

この察することば、言
い換えれば自分の今まで
の体験に置き換えて、そ
のときの心の高ぶりを思
い出しながら感情を動か
しています。

過去に感動 ことでも感動する度合い
体験が多いほど、他人の が大きくなるということ
が、学術的にも立証され
ているのです。

私たちはオリンピック

に出たことはありません
。ましてスキーのジャ
ンプ台から飛び出したこ
ともありませんが、過去
にハラハラし戸惑いなが
らもトライした「小さな
体験の積み重ね」が、着
地が成功したときに「や
った」と思わず自分の
ことのように置き換えて
感じているのです。

「感動」という言葉を
辞書で調べると「美しい
ものや素晴らしいことに
接して強い印象を受け、
心を奪われること」とあ
ります。ここでも「接し
て」というキーワードが
ありますね。

子どもは自然に感動を
受ける。自然は子どもに
対して、感動の源である。

私は自然体験活動を仕
事にしてはいますが、わ
ずか1回の体験だけで子
どもたちの笑顔や顔つき
が変わる瞬間をたくさん
見ました。どんな知識
より、体験から得る感動
に勝るものはありませ
ん。

(尼崎市立美方高原自
然の家所長 田中誉人)

本物体験の大切さ

感動の積み重ねで心が成長する



自分たちで作ったかまぐらで夜を楽しむ子どもたち